

不退転

第 118 号
東江中学校
校長 神元 勉

just be you あなたらしく

「愛楽園に行って学んだこと」
1年 安里 佳恋かれん
初めて愛楽園でハンセン病の講話を聞いて学んだことは、愛楽園にはたくさんの方が、「病気が治ったのに、ずっとそこで暮らさないといけない」と、ひどい差別や偏見を受けていた。その差別が今でも続いている、社会に出れない。「ということ」です。それを聞いて、一刻も早く差別がなくなつて、みんな平等に暮らせるようになればいいなと思いました。
園内めぐりでは、実際に防空壕に入つてみて、天井が低かったり、貝がたくさんあったりして、掘るのもとてもつらかったんだらうなと思いました。壕を掘って指がなくなつたひとがたくさんいて、胸が苦しくなりました。
午後の交流会では、とてもお世話になりました。ソフトバレーボールをして1組の仲も深まったと思うし、とても楽しかったのでよかったです。
私はこれから、ここで学んだことを生かしていきたいと思えます。最近、人種や肌の色の違いで、差別している人も多いので、私は、そういう人になりたくないと思いました。
今回は、愛楽園で様々な体験をさせていただいております。ごさいませ。

沖縄タイムス 2017年11月12日

ぼくも私もおばあちゃんたちといっしょ
老人ホームで笑顔になった
神山 奏那あきな 中1
私は職場体験学習で「特別養護老人ホームかりゆいぬ村」に行きました。私が体験したことは、お血洗いや、おしぼりとコップ配り、おばあちゃんやおじいちゃんにエプロンをかけたり、車いすを押してあげたりすることです。おばあちゃん

この体験を通して学んだことは、おばあちゃん、おじいちゃんといふふうにな年寄りだからと分けてはいけません。おばあちゃんもいろいろな性格を持っているから大切です。また、笑顔もとても大切なことわかりました。私たちが笑顔でいれば、おばあちゃん、おじいちゃんたちも笑顔になっていたか

(名護市、東江中)

新聞社への1学年の「職場体験学習」の投稿記事が、次々と掲載されています♡

琉球新報 2017年11月12日

僕の主張 ■ 私の意見
生命あずかる仕事
名護市立東江中1年 目取眞 幸
僕は「北部家畜診療所」で職場体験学習をしました。僕が一番驚いたのは、動物病院と違って、診療所自ら家畜にむかうということです。朝9時頃に出発し、午後4時頃診療所に戻ります。
一日目は、許田や本部などを回りました。牛にワクチンをうつのを見たり、牛の爪を切るのを見たりしました。どちらかといえば力マのような物でけずっていました。めつたに見られないのです。いい思いました。
二日目には牛の心臓の音を聞きました。三日目には一番見えた牛の出産の様子が見れたので本当にうれしかったです。
3日間の体験で僕が学んだことは二つあります。家畜を飼っている人とのコミュニケーションをとること、生命を預かる大事な仕事だということです。3日間とてもいい経験になりました。

琉球新報 2017年11月14日

僕の主張 ■ 私の意見
あいさつから始まる
名護市立東江中1年 伊波 星奈
私は「やんばる物産」で3日間職場体験をしました。初日に感じたことは、業務が違っていても、会ったら「おはようございます」「お疲れ様でした」とあいさつをしていて、あいさつは大事なんだなということでした。
3日間体験してみて、いろんな人といろんなことがしゃべれたので良かったです。初めは簡単そうだなと思っただけで、やってみると難しいです。仕事の大変さがわかりました。
この商品がおすすです